

コメント

1. インフルエンザ

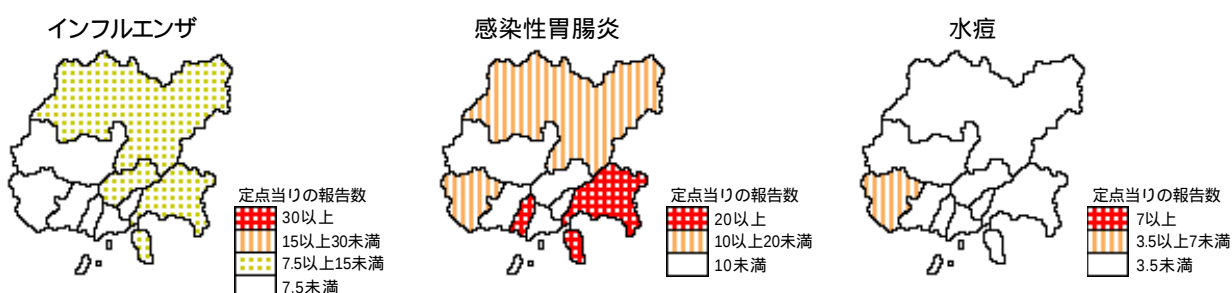
報告数が2週連続で急増し、定点当り4.84人と流行開始の指標(定点当り1.00人)を超えています。安芸区14.00人、安佐北区8.20人、東区8.00人となっています。

2. 感染性胃腸炎

やや減少し、定点当り12.33人となりましたが、報告数の多い状態が続いています。特に安芸区25.50人、中区22.67人と多く、安佐北区と佐伯区でそれぞれ14.00人となっています。

3. 水痘

定点当り2.17人と減少しました。佐伯区3.67人となっています。



4 類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾病名	報告数	定点当り	前年同期	発生記号	疾病名	報告数	定点当り	前年同期	発生記号
インフルエンザ	179	4.84	0.32	↑	麻疹(注1)	1	0.04	0.17	
咽頭結膜熱	-	-	0.08		流行性耳下腺炎	26	1.08	0.42	↓
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	17	0.71	1.38		急性出血性結膜炎	1	0.13	-	
感染性胃腸炎	296	12.33	13.25	↘	流行性角結膜炎	5	0.63	1.38	
水痘	52	2.17	1.71	↘	急性脳炎(注2)	-	-	-	
手足口病	10	0.42	0.13		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	11	0.46	0.38		無菌性髄膜炎	2	0.29	-	
突発性発疹	12	0.50	0.75		マイコプラズマ肺炎	7	1.00	0.29	
百日咳	-	-	-		クラミジア肺炎(注3)	-	-	-	
風疹	-	-	-		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	2	0.08	0.08			-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1.5～2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1.1～1.5の増減
横ばい	→		殆ど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37 (小児科定点含む)
小児科定点数 24
眼科定点数 8
性感染症定点数 9
基幹定点数 7

(注1) 成人麻疹を除く
(注2) 日本脳炎を除く
(注3) オウム病を除く

1 類～4 類感染症報告状況 (全数把握対象分)

報告はありません。

4 類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

			インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹（注１）	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎（注２）	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（注３）	成人麻疹	
報告数	広島市	第1週	8	-	8	129	64	2	4	6	-	-	-	-	37	-	13	-	-	-	-	-	-	
		第2週	63	-	23	355	84	1	9	28	-	-	-	-	53	-	11	-	-	-	7	-	-	
		第3週	179	-	17	296	52	10	11	12	-	-	-	2	1	26	1	5	-	-	2	7	-	-
定点当り	広島市	第1週	0.22	-	0.33	5.38	2.67	0.08	0.17	0.25	-	-	-	-	1.54	-	1.63	-	-	-	-	-	-	
		第2週	1.70	-	0.96	14.79	3.50	0.04	0.38	1.17	-	-	-	-	2.21	-	1.38	-	-	-	1.00	-	-	
		第3週	4.84	-	0.71	12.33	2.17	0.42	0.46	0.50	-	-	-	0.08	0.04	1.08	0.13	0.63	-	-	0.29	1.00	-	-
	広島県	第1週	0.22	0.01	0.28	6.53	2.45	0.03	0.09	0.29	-	-	-	-	0.01	0.91	-	1.15	-	-	-	0.05	-	-
		第2週	1.30	0.04	0.89	15.45	3.00	0.15	0.27	0.81	-	-	-	-	0.01	1.95	0.15	1.65	-	-	-	0.33	-	-
	全国	第1週	0.39	0.04	0.38	3.76	2.09	0.07	0.18	0.30	0.00	0.01	0.01	0.02	0.04	1.27	0.02	0.68	-	0.00	0.01	0.11	-	0.01
第2週		1.45	0.05	1.01	8.53	2.92	0.11	0.50	0.78	0.01	0.01	0.01	0.04	0.08	2.18	0.03	1.25	0.00	0.01	0.03	0.27	0.01	0.00	

(注1)成人麻疹を除く (注2)日本脳炎を除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	住所	発症 年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	0	男	安佐南区	2001/12/27	咽頭拭い液	インフルエンザ(AH1)型

【参考】 インフルエンザウイルスの分離状況

インフルエンザはインフルエンザウイルス感染による急性呼吸器感染症で、上気道症状のほかに、突然の高熱、全身倦怠、頭痛、筋肉痛などがみられます。このウイルスはA型、B型及びC型に分類され、A型はさらにいくつかの亜型に分けられます。

かつて、Aソ連型(AH1型)、A香港型(AH3型)及びB型の3種類のインフルエンザウイルスが、年ごとに入れ替わって流行していましたが、昨年のシーズンはこの3種類のウイルス型が混在して分離されています。

今シーズン広島市では、12月28日採取の検体からAソ連型が初めて分離されました。

1月22日現在の中国四国地区では、Aソ連型が41株、A香港型が17株、B型が3株分離されています。

本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2002年第3週(1月14日~1月20日)